

プラズマ・核融合学会誌

第96巻第4号

2020年4月

解 説	極限的高ベータ配位：FRCの閉じ込め・安定性をどう理解するか？ 浅井朋彦, 高橋 努, 郷田博司, 岸本泰明	165
小 特 集	レーザーによる半導体・誘電体の励起過程の観測とその利用の新展開 1. はじめに 乙部智仁	174
	2. 膜剥離ダイナミクスから見た透明材料のフェムト秒レーザーアブレーションに おける非熱効果の研究 熊田高之	176
	3. テラヘルツ光による半導体光誘起プラズマの非破壊観測 坪内雅明	181
	4. 超高速プラズマミラー生成によるレーザーパルス波形計測 板倉隆二	186
	5. おわりに 乙部智仁	190
研 究 論 文	「核融合」の国内認知度・イメージ分析 武田秀太郎, 長島瑠子	191
研 究 論 文	4次元ストリートビュー：計算機シミュレーションの新しい可視化法 陰山 聡, 坂本尚久, 大野暢亮	199
Plasma and Fusion Research 掲載論文アブストラクト	207
インフォメーション 幅広いアプローチ活動だより(84) 【人事公募】	208
本 会 記 事 専門委員会応募に対する採択の結果／学会賞候補者の募集について／第37回プラズマ・核融合学会年 会シンポジウム・招待講演の募集	212
編 集 後 記		

表紙の絵

高速点火レーザー核融合実験用フォームクライオジェニックターゲットの研究開発。直径 481 μm フォームシェルターゲットに軽水素を導入した実験の写真。過充填によるメニスカスの変化から液体水素充填量の制御性について確認した。フォーム層を満たす充填量の制御が可能であることが分かった。その後、そのフォーム層に充填された液体燃料を無気泡固化することでターゲットは完成となる。(Akifumi IWAMOTO *et al.*, Plasma and Fusion Research, Vol. 15, 2404006 (2020) <http://www.jspf.or.jp/>)

【複写をされる方へ】本学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しています。本誌に掲載された著作物の複写をご希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けてください。但し、企業等法人による社内利用目的複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複写権センター(社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はありません(社外頒布用の複写については許諾が必要です)。

権利委託先：一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052東京都港区赤坂9-6-41乃木坂ビル 2F Tel:(03)3475-5618 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託しておりません。直接当学会へお問い合わせください。